

南山手の文学館

生成的人工知能（生成AI）が急速に浸透しつつある現在、創作の在り方も問い直しを迫られています。文学も人間の創造的な行為の一つですが、このような時代状況の中で、見直さざるを得なくなってきました。そこで、今回は文学のその現在地を確認し、どこに向かおうとするのかについて、4つの作品を取りあげ、読み返しなが、と一緒に考えましょう。

- 時間：13：30～15：30
- 場所：南公民館
- 講師：上出 恵子 先生
- 定員：20人
- 受講料：無料
- 持ってくるもの：筆記用具

日程

回	期 日	学 習 内 容
1	10/6 (金)	◎開講式・オリエンテーション ○村上春樹『街とその不確かな壁』（令和5年） 村上春樹の話題の新作長編『街とその不確かな壁』を取り上げます。評価はまだ今後を待たなければなりません、村上春樹および現代の文学の立脚点について、様々な問題提起がなされています。読み深めながら、一緒に検討してまいりましょう。
2	10/13 (金)	○上橋菜穂子『鹿の王』（平成26年） 上橋菜穂子のファンタジー小説『鹿の王』は平成27年の本屋大賞受賞作品です。本屋大賞は「新刊を扱う書店（オンライン書店含む）の書店員」の投票による文学賞ですが、本のプロたちが選ぶ作品とはいかなるものか。また、ファンタジーについても再度理解を深めてまいりましょう。
3	10/20 (金)	○山本周五郎『柳橋物語』（昭和21年） 山本周五郎は英雄や豪傑中心だった時代小説を、庶民をはじめとする名もなき人々の哀歓を綴ったものにした作家です。そのような山本周五郎の時代小説の動向を決した『柳橋物語』をとりあげ、時代や歴史と人間の問題に迫ってまいりましょう。
4	10/27 (金)	○夏目漱石『草枕』（明治39年） 『草枕』は漱石の初期作品を代表するものの一つですが、後の作品はこの『草枕』を否定したところから書かれたと言われています。漱石が見捨てた『草枕』的なものとは何かを明らかにし、その可能性について改めて考察してまいりましょう。 ◎閉講式



- **申込方法**
 - ①往復はがきによる申し込み
講座名、住所、氏名、年齢、電話番号、返信用のあて名を書いてください。
 - ②来館による申し込み（返信用はがきを持参してください）
 - ③ホームページの申し込みフォームによる申し込み
- ※申し込み多数の場合は抽選です。

スマートフォン
はコチラから



- **申込期限** 令和5年8月31日（木）必着 ● **申込み・問合せ先**

長崎市南公民館 〒850-0936 長崎市浪の平町7番19号
TEL825-0295 FAX825-0294

※南公民館のその他の情報は

長崎市南公民館

検索